

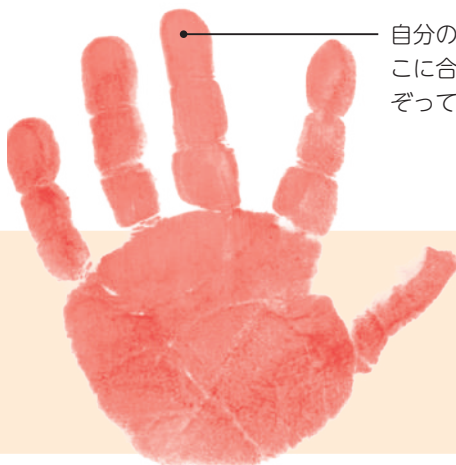
# 1 幼児の体の発達を 知ろう

自分の中指をこ  
こに合わせてな  
ぞってみよう。

## 見める

態度

生まれたばかりの赤ちゃん  
の手の大きさに、自分の手  
を重ねてなぞってみよう。



めあて

幼児の体の発達の特徴を理解する。

幼児の運動機能の発達を理解する。

知・技

## 学ぶ

1 幼児の体の発達についてまとめてみよう。

- (1) 乳児期・①( 幼児期 ) は、心身の②( 発達 ) がめざましい。生まれたときから4歳ま  
でに、身長は約③( 2 ) 倍、体重は約④( 5 ) 倍になる。
- (2) 運動機能の発達には、上から下へ、中心から末端へという( 方向性 ) がある。
- (3) 幼児期の発達の進み方には、一定の①( 順序 ) があるが、スピードには②( 個人差 )  
がある。
- (4) 幼児の体のおもな特徴と注意点をまとめてみよう。

●身長に対する

①( 頭 ) の  
割合が大きい



注意⑤( バランス ) を  
取りにくく、転びやすい

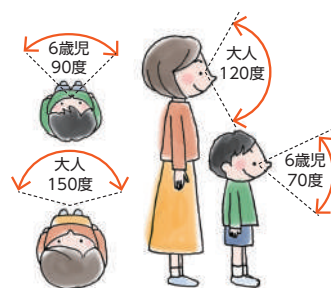
●大人に比べて

②( 体温 ) が高い



注意⑥ こまめな着替えや  
⑥( 水分 ) 補給が必要

●③( 視野 ) が狭く、  
④( 視力 ) も弱い



注意⑦( 事故 ) を起こし  
やすい

## ふり返る

A: できた B: まあまあ C: もう少し

知・技 ●高齢者の一般的な身体の特徴を理解できましたか。 ( A ・ B ・ C )

知・技 ●幼児の運動機能の発達を理解できましたか。 ( A ・ B ・ C )

## 2 幼児の心の発達を知ろう

### 見つける

態度

1歳ごろの幼児はどんな言葉をしゃべっているか、書いてみよう。

(例) マンマ、ブーブー、ワンワン、ニャンニャン

めあて

幼児の言葉や情緒、社会性、もののとらえ方の発達の特徴を理解する。

### 学ぶ

知・技

1 幼児の心の発達についてまとめてみよう。

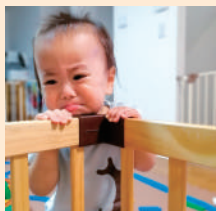
言葉	1歳ごろは「マンマ」「ブーブー」などの①( 一語文 ) でものを伝える。
情緒	②( 2 ) 歳半ごろまでに大人とほぼ同じ③( 感情 ) がそろうが、思うように言葉で表現できないことがある。
社会性	④( 2 ) 歳ごろになると、自分の⑤( 意思 ) (自我)をもつようになり、⑥( 自己主張 ) が強くなる。
もののとらえ方	<p>自分の⑦( 体験 ) をもとに形成されていく。⑧( 脳 ) が未発達で、経験も少ないため、次のような特徴が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑨( 自己中心的 ) に物事を考える</li> <li>・生命がないものにも命や意識があると思える</li> <li>・物事を⑩( 情緒的 ) ・感情的にとらえる</li> </ul>



深めよう

思・判・表

左の写真を見て、男の子がどうして泣いているのか理由を考えてみよう。また、どのような言葉かけをしたらよいか考えてみよう。



泣いている理由

(例) お母さんが見えなくなったから。  
おなかがすいているから。 眠たくなってきたから。

言葉かけ

お母さん、あっちにいるよ。

### ふり返る

A: できた B: まあまあ C: もう少し

知・技

● 幼児の言葉や情緒、社会性、もののとらえ方の発達の特徴を理解できましたか。

( A ・ B ・ C )



豆知識

子どもは4歳ごろから、言葉を使って物事を考えるようになります。この時期の子どもの絵は、大人が真似できない素晴らしい想像力にあふれています。

### 3 幼児の生活習慣の 身につけ方を知ろう

#### 見つける

態度

自分が幼児のころ、生活習慣を身につけるため、まわりの大人にどんなことを手伝ってもらっていたかを思い出してみよう。

(例) 祖母に爪を切ってもらっていた。

父に髪を洗ってもらっていた。

朝、起こしてもらっていた。

めあて 幼児が生活習慣を身につけるには、まわりの大人の支えが必要であることを理解する。

知・技

#### 学ぶ

1 幼児の生活習慣についてまとめよう。

- (1) 幼児の生活習慣は、教えられたり、( まね ) をしたりしながら身についていく。
- (2) 食事や睡眠、排泄<sup>すいみん</sup>などの習慣的な行動を、( 基本的 ) 生活習慣という。
- (3) あいさつをする、交通安全のルールを守ることなどの習慣を、( 社会的 ) 生活習慣という。
- (4) おとなは幼児の自立の手助けや援助をするとき、どのようなことに気をつけたらよいか、まとめてみよう。

(例) 幼児の「自分でやりたい」という気持ちを尊重する。



深めよう

思・判・表

次のようなとき、あなたはどんな声かけができるか、考えてみよう。

3歳のゆうかさんが家に泊まりにきて、トイレに一人で行くのこわがっている。



(例) ひとりでできる？  
一緒に行こうか？



ほかの人の声かけを聞いてよいと感じたことをメモしよう。

#### ふり返る

A: できた B: まあまあ C: もう少し

知・技

●幼児が生活習慣を身につけるには、まわりの大人の支えが必要であることを理解できましたか。

( A ・ B ・ C )

## 4 幼児の生活の特徴を知ろう

### 見つける

態度

幼児と中学生の1日の過ごし方を比べ、気づいたことを書いてみよう。

(例) 幼児のほうが、遊ぶことと眠ることの時間が長い。

めあて 幼児の1日の生活の特徴を理解する。

### 学ぶ

知・技

1 幼児の生活についてまとめてみよう。

- (1) 幼児期は、規則正しい（生活リズム）を整えることが重要である。
- (2) 生活の中心である遊びは、（心身）の発達<sup>うなが</sup>を促す重要な意味がある。
- (3) 幼児の発達には、十分な睡眠が必要であるため、①（昼寝）で補うことが重要である。  
また、発達が盛んなため、食事のほかに、②（おやつ）でエネルギーや栄養素を補っている。



深めよう

思・判・表

幼児のおやつを選ぶときのポイントを調べてみよう。

(例)

- ・アレルギー<sup>はいりょ</sup>に配慮する。
- ・幼児の発達段階に合った食べやすいものにする。
- ・消化・吸収のよいものにする。
- ・甘さ<sup>あま</sup>を抑えたもの<sup>おさ</sup>にする。



### Note

### ふり返る

A: できた B: まあまあ C: もう少し

知・技

●幼児の1日の生活の特徴を理解できましたか。

( A ・ B ・ C )



「青年」と聞いて、どれくらいの年齢を思い浮かべますか？ 厚生労働省の区分では、15歳から29歳までと、意外と長めです。

## 5 幼児の遊びと 発達のかかわりを知ろう

### 見つける

態度

小さい頃どんな遊びをしたか、思い出してみよう。

・どのような遊びだったか

(例) おにごっこ、かくれんぼ、どんぐり集め、セミとり

・どんなところが楽しかったか

ドキドキするところ。実際にふれて観察できるところ。

めあて 幼児にとっての遊びの意義を理解する。

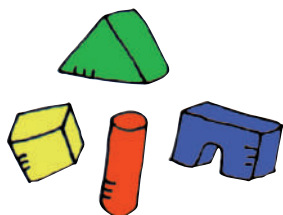
幼児の心身の発達と遊びには深いかかわりがあることを理解する。

知・技

### 学ぶ

1 幼児の遊びと発達のかかわりについてまとめてみよう。

(1) 遊びと、その遊びによって促されるおもな発達を線で結ぼう。



- |         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| ① つみき遊び | ⑦ 手や指先の運動機能が発達し、<br>だんだん上手にできるようになる。 |
| ② にらめっこ | ④ 観察力や表現力を高めたり、不安な気持ちを和らげたりする。       |
| ③ ごっこ遊び | ⑤ 楽しみながら、表情筋の発達が進む。                  |
| ④ かるた   | ⑥ 生活の技能が身についたり、思いやりの心が生まれたりする。       |
| ⑤ お絵かき  | ⑧ ぶら下がったり、よじ登ったりと、体のさまざまな筋肉を使って遊ぶ。   |
| ⑥ 公園の遊具 | ⑨ ルールを理解しながら遊ぶ。                      |

## 2 幼児の遊び道具についてまとめてみよう。

## 遊び道具の選び方

- (1) ( 安全性 ) への配慮がなされているものを選ぶ。
- (2) 幼児の心身の ( 発達 ) 段階に合っているものを選ぶ。
- (3) 幼児の ( 興味 ) ・関心に合ったものを選ぶ。
- (4) おもちゃについているマークと説明を線で結ぼう。



①

ST



㊦ 日本玩具協会の安全基準に合格したものにつけられる。

②



㊧ 耳が不自由な子もいっしょに楽しく遊べるおもちゃにつけられる。

③



㊨ 目が不自由な子もいっしょに楽しく遊べるおもちゃにつけられる。

- (5) 伝承遊びの中で遊んだことがあるものをチェックしよう。



笹舟



どんぐりのこま



お手玉



ビー玉



けん玉



紙風船



深めよう

思・判・表

伝承遊びや、昔の遊び道具について調べてみよう。

(例) 竹とんぼ, めんこ, おはじき

ふり返る

A: できた B: まあまあ C: もう少し

知・技

● 幼児にとっての遊びの意義を理解できましたか。

( A ・ B ・ C )

知・技

● 幼児の心身の発達と遊びには深いかわりがあることを理解できましたか。

( A ・ B ・ C )

## 6 幼児の発達を支える 大人の役割を考えよう

### 見<sup>こ</sup>つめる

態度

幼い頃をふり返って、地域の  
人々にどのようなことをして  
もらったのかを書いてみよう。

・どのようなとき

(例) 子ども会のお祭り

・だれに何をしてもらったか

町内会長さんと一緒におみこしをかついだ。

めあて

幼児の発達を支える家族の役割を理解する。

幼児の発達を支える地域の役割を理解する。

知・技

### 学<sup>ぶ</sup>

1 幼児の発達を支える人々についてまとめてみよう。

- (1) 幼児にふさわしい ( 生活環境 ) を整えることは、家族の重要な役割である。
- (2) 家族が愛情をもって幼児に接することで、基本的な ( 信頼関係 ) ができあがる。
- (3) 幼児のまわりにいる ( 地域 ) のさまざまな人々が、幼児の発達を支えている。



深めよう

思・判・表

幼児や幼児の家族のために、自分にできることはないかを考えてみよう。

(例) ・休日に一緒に公園で遊ぶ。

・児童館で絵本の読みきかせや、一緒に絵を描く。

・折り紙で作品を作って、誕生日にプレゼントする。

ほかの人の意見を聞いてよいと思ったことを書いてみよう。

Note

### ふり返る

A: できた B: まあまあ C: もう少し

知・技

● 幼児の発達を支える家族の役割を理解できましたか。 ( A ・ B ・ C )

知・技

● 幼児の発達を支える地域の役割を理解できましたか。 ( A ・ B ・ C )

## 7 幼児とふれ合ってみよう

### 見める

態度

幼児とふれ合うときに、何をしたいか、どのようなことを知りたいかなどを書いてみよう。

(例) 絵本の読み聞かせ、粘土、折り紙。  
どのような歌を歌っているのか知りたい。

めあて 幼児とのかかわり方を理解する。

幼児を観察したり、実際にふれ合ったりすることを通して、幼児についての理解を深める。

### 学ぶ

知・技

#### 1 幼児とのかかわり実習の事前準備と注意点を確認しよう。

●確認できたことにチェックをしよう。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 幼児の心身の発達や生活の特徴 <sup>とくちょう</sup> の復習 | <input type="checkbox"/> 手を石けんで洗って清潔にしておく                                 |
| <input type="checkbox"/> 服装や持ち物、スケジュールの確認                    | <input type="checkbox"/> 施設先でのルール、指示に従う                                   |
| <input type="checkbox"/> 名札の用意                               | <input type="checkbox"/> 迷ったときは必ず相談                                       |
| <input type="checkbox"/> 言葉遣い <sup>づか</sup> 、態度、あいさつ         | <input type="checkbox"/> 幼児の個人情報の保護                                       |
| <input type="checkbox"/> プレゼントは事前に許可を得ておく                    | <input type="checkbox"/> 中学生だけで盛り上がらない                                    |
| <input type="checkbox"/> 体調を整えてのぞむ                           | <input type="checkbox"/> 周囲をよく見て行動する                                      |
| <input type="checkbox"/> 長い髪はまとめ、爪を切る                        | <input type="checkbox"/> 施設の禁止事項 <sup>しこう</sup> 、緊急時の対応 <sup>きんきゅうじ</sup> |
| <input type="checkbox"/> 動きやすい服装、アクセサリは外す                    | <input type="checkbox"/> 問題が起こったらすぐに連絡                                    |

知・技

#### 2 幼児とふれ合うときのおもなコツをまとめてみよう。

●①( 目 ) の高さを合わせて話す



●ゆっくり、②( はっきり ) 話す



●③( 話 ) をさえぎらずに最後まで聞く



●豊かな④( 表情 ) や身振り手振りで話す



●幼児の⑤( 気持ち ) やペースを大事にする



●幼児同士で遊んでいるときは⑥( タイミング ) を考えて加わる



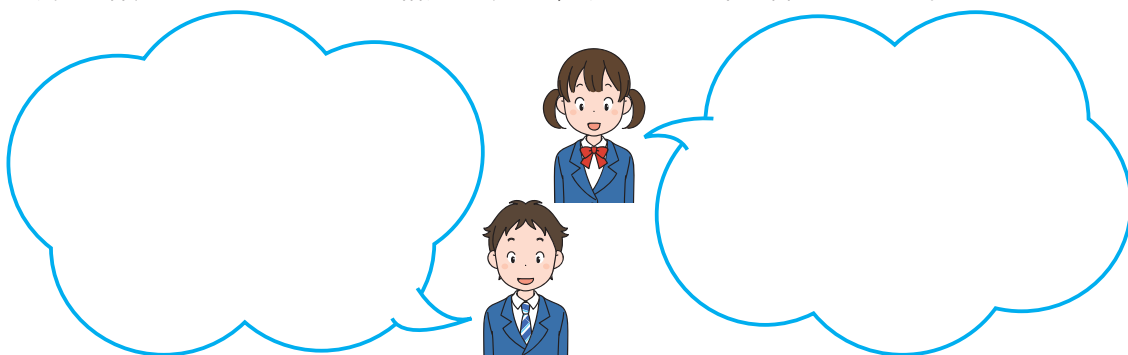
①ふれ合い実習の日時 月 日 ( ) : ~ :

②ふれ合いの場所

③ふれ合う幼児の年齢 歳

④わたしの目標 (幼児とどのようなふれ合いをしたいですか)

幼児と仲良くなれるような自己紹介を考えて、吹き出しの中を書いてみよう。



⑤当日の注意点 服 装 :

持ち物 :

その他 :

⑥当日のタイムスケジュール

教科書 p.61 図 14 ふれ合い後のまとめ①～⑩を参考にしながら、まとめてみよう。

⑦ 幼児とどんなふれ合いができましたか。幼児との会話の内容や、いっしょにした遊び、そのときの幼児の様子を書いてみよう。

⑧ 自分のふれ合い方のよかったところを書いてみよう。

⑨ 自分のふれ合い方の改善点を書いてみよう。

⑩ ふれ合い実習を通して、気づいたことや感じたことをまとめよう。

## ふり返る

A: できた B: まあまあ C: もう少し

知・技

● 幼児とのかかわり方を理解できましたか。

( A ・ B ・ C )

知・技

● 幼児を観察したり、実際にふれ合ったりすることを通して、幼児についての理解を深めることができましたか。

( A ・ B ・ C )

# 学びを生かそう

学習日 /	名前
組 番	

**課題** ●自分や家族の生活を見つめ直し、発見した問題点をもとに課題を設定しよう。

私の課題

設定した理由

**計画** ●課題を解決するために必要な計画を立て、準備しよう。

**実践** じっせん ●実践したことを記録してみよう。(計画を発表したときのことを書いてもよい。)

**評価・改善** ●実践したことのよい点や改善点をまとめてみよう。

**次の課題へ** ●改善点をふまえて次の課題を考え、今後の生活に生かそう。